

# おすすめICT活用事例のご紹介

| 区分   | 学年   | 教科 | 単元           | 活用ソフト              |
|------|--|----|--------------|--------------------|
| 小    | 5  | 算数 | 図形の角（自由進度学習） | オクリンク              |
| 授業内容 | 図形の角を調べよう  |    |              | 活用ツール<br>カード・提出BOX |
|      | 準備：<br>進度カード（紙）…単元ごとのチェックポイント、各チェックポイントに対応した教科書、計算ドリル、ショートテストの情報を記入する。単元全体の時間の割り振りを「時間」に記入する。<br>進み具合カード（オクリンク）…「順調」「怪しい」「助けて」などの色別カードを用意し、子供がどのチェックポイントの課題に取り組んでいるか番号を入力できるようにしておく。<br>課題カード（オクリンク）…各チェックポイントの問題カードを用意する。<br>提出BOX（オクリンク）…「進み具合」「課題」を提出するための提出BOXを用意する。   |    |              | 進度カード              |
|      | 授業の流れ：<br>1.配付された <b>進度カード</b> で学習の心構えと5つのルールを確認する。<br>2.単元の説明を聞く。<br>3. <b>進度カード</b> のチェックポイントを確認して、配付された <b>進み具合カード</b> に取り組む番号を書き、「 <b>進み具合</b> 」 <b>提出BOX</b> に提出する。チェックポイントをクリアするために、教科書の問題を解いたり、紙ドリルやデジタルドリルの問題に組んだりする。<br>4.学習が十分にできたら <b>課題カード</b> を先生に送ってもらい、問題を解いて「 <b>課題</b> 」 <b>提出BOX</b> に提出する。チェックポイントをクリアしたら、次のチェックポイントの課題に取り組む。<br>5.目標のチェックポイントがクリアできたら、まわりの友達のフォローをする。課題に取り組んでいる時に助けが必要な場合は、 <b>進み具合カード</b> を「助けて」の色にして「 <b>進み具合</b> 」 <b>提出BOX</b> に提出しておく。<br>6. <b>進度カード</b> に振り返りを記入する。 |    |              | 進み具合カード            |
|      | ICT利活用のポイント  |    |              | 課題カード              |
|      | おすすめポイント   |    |              |                    |

# その他自由進度学習事例のご紹介

| 学年 | 教科 | 活用ソフト   | 内容   | ポイント  |
|----|----|---|--|---|
| 小4 | 国語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンク</li> <li>・PowerPoint</li> </ul>     | 単元：きょうみをもったことを中心にしようかいしよう<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ウナギのなぞをまとめて発表する。</li> <li>・まとめる方法はオクリンク、PowerPoint、画用紙、ノートなど子供たちが自由に決める。個人、グループで作成するかも子供たちが自由に決める。</li> <li>・毎時間の振り返りは全員オクリンクで提出し、先生が確認する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが主体的にまとめ方や発表方法を選び学習することができます。</li> <li>・毎時間の振り返りをオクリンクで提出することで、先生が子供たちの進捗を確認することができます。</li> </ul>     |
| 小5 | 体育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Workspace</li> <li>・カメラ</li> </ul> | 単元：跳び箱運動<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する練習方法の計画を自分で立てる。</li> <li>・練習の様子を撮影し、自分で改善点を見つけたり、友達同士でアドバイスを行ったりして、練習する。</li> <li>・練習前と練習後の動画を確認し、振り返りを行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが主体的に考えて行動することができます。</li> <li>・動画を撮影することで、自分で改善点に気づくことができます。</li> </ul>                               |
| 小5 | 算数 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Workspace</li> </ul>               | 単元：共通<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に提示された「今日の課題、やるべきこと」を確認する。</li> <li>・先生が作ったまとめ、ポイント、説明動画（YouTube）、問題をGoogle Classroomに掲載する。</li> <li>・子供たちはどこから学習を始めても良い。スライドに貼られた問題を解いても、プリントに書いても、ノートに書いても、説明動画を聞くとところから始めても良い。問題は、標準問題、発展問題、挑戦問題など、自分の理解度に合わせて選べるようにする。</li> <li>・本時の理解度を先生が把握するために「確認テスト」を行う。</li> <li>・確認テストの結果を見て、次時にフォローが必要な部分を先生が説明する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の理解度に合わせて進めることができます。</li> <li>・動画教材やその他の教材など、さまざまな形式の教材を一箇所にまとめておくことができ、子供たちが自由に選択することができます。</li> </ul> |

# その他自由進度学習事例のご紹介

| 学年 | 教科 | 活用ソフト      | 内容  | ポイント   |
|----|----|------------|---|--|
| 中1 | 社会 | ・オクリンク     | 単元：共通<br>・ 先生が提示した本時のねらいを確認する。<br>・ 先生が小さな課題を設定したカードを複数枚オクリンクで配付する。<br>・ 子供たちは教科書や参考書、インターネットを参考にしながら課題に解答し、提出BOXに提出する。<br>・ 先生が提出BOXを公開し、子供たちは他の子供の解答を見て、良いところを取り入れる。  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の進度で教科書や参考書を読み込み、解答することで、単元の理解が深まります。</li><li>・ 提出BOXを公開し、共有することで、他者の良いところに気づき、自身の考えに取り入れることができます。</li></ul>       |
| 中3 | 数学 | ・Office365 | 単元：共通<br>・ 「人に教えるとは」「人から教えてもらう姿勢とは」「自分から声をあげる大切さ」を確認する。<br>・ 先生がTeamsの数学チームに各単元のチャンネルを作成し、チャンネル内に貼り付けた「説明動画」「問題プリント」「解答プリント」を、子供たちが自身の進度で進めていく。<br>・ 問題を解くときは、班ごとに分かれ、教えあう。<br>・ Teamsに貼られた進度表で、自身の進み具合をチェックし、振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 説明動画を作成しチャンネルに貼り付けておくことで、自分のペースで学習を進めることができます。</li><li>・ 自分のペースで学習を進めていきますが、班ごとに分かれ教えあうことで、協同的な学びにもなっています。</li></ul> |